



2026年5月12日

各位

会社名 ケル株式会社
代表者名 代表取締役社長 春日 明
(コード番号:6919 東証スタンダード)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 牧田 直規
(TEL 042-374-5810)

2026年3月期通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年2月6日に公表いたしました2026年3月期通期連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績予想と実績値の差異 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,500	320	450	310	42.61
実績(B)	12,857	284	384	210	28.92
増減額(B-A)	+357	△35	△65	△99	
増減率(%)	+2.9	△11.0	△14.6	△32.1	
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	11,871	596	585	401	55.23

差異の発生理由

当社グループは、本年2月公表の業績予想修正時点におきましては、車載機器市場における電動化の進展を背景に需要拡大が継続し、工業機器市場も在庫調整の影響が残るものの、市場環境の改善に伴う受注回復が進むことを想定しておりました。実際に売上高につきましては、工業機器市場・遊技機器市場向けコネクタの受注は好調に推移し、医療機器市場・画像機器市場向けコネクタの受注も堅調に推移いたしました。一方で、車載機器市場・通信機器市場向けコネクタの受注は減少しました。全体としましてはコネクタの売上伸長が寄与し、売上高は128億57百万円と業績予想を上回る結果となりました。

利益面につきましては、原材料価格の高騰により売上原価が上昇したことに加え、中国工場の量産開始が当初計画より遅延し、生産効率の改善効果が想定を下回ったことから、売上総利益率が低下いたしました。また、将来の事業拡大および競争力強化を見据えた新製品・新技術開発への研究開発投資に加え、国内における新拠点の設立、中国工場設立に伴う設備投資等により、減価償却費ならびに販売費及び一般管理費が増加いたしました。さらに、当社製品の一部に品質不具合が判明したことを受け、補修費用および関連費用として40百万円の特別損失を計上したこともあり、業績予想を下回る結果となりました。なお、本不具合は一部顧客で発生したものであり、主力製品への品質・性能に与える影響は限定的であります。

以上